

教育かしま

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進するための情報を掲載していきます

第64号

電子版はこちらから

【発行日】
令和7年12月1日
【発行】
鹿嶋市教育委員会
【連絡先】
鹿嶋市教育委員会 総務就学課
TEL0299-82-2911 (内線521)



中央図書館 40周年記念

鹿嶋市立中央図書館は地域の皆さんに支えられ、令和7年10月に開館40周年を迎えました。10月から11月にかけて実施した、開館40周年記念「図書館まつり」の模様をお伝えします。

40年の感謝を込めて

開館からの歩みを振り返る企画展示「図書館40年のあゆみ」を開催しました。

開館当時からの年表や懐かしい図書利用カード、貸出バッグの写真などを展示し、地域の皆さんとともに重ねてきた年月と、図書館の軌跡を振り返りました。

また、来館者の皆さんからいただいたメッセージカードを一枚ずつ貼り重ね、みんなで「図書館の樹」



▲企画展示「図書館40年のあゆみ」

を育てる企画「育て！図書館の樹」を実施しました。心に残る1冊や図書館の想い出など、年齢を問わず多くの声が寄せられ、メッセージカードは枝葉のように広がり、大きく力強い「樹」へと成長しました。

その他「子ども映画会」や「おはなしフェスタ」にも多くのご参加をいただき、開館40周年記念「図書館まつり」は大いに盛り上りました。

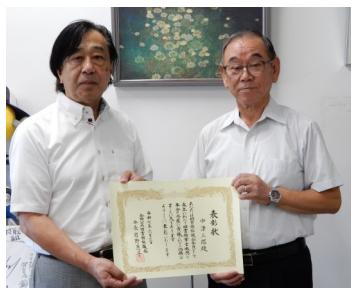


▲メッセージで大きく成長した「図書館の樹」

全国公共図書館協議会表彰

9月26日、本市図書館協議会の中津三郎委員長が、全国公共図書館協議会より図書館功労者として表彰されました。

25年もの長きにわたり、市民の読書環境の向上などに寄与されてきた功績が高く評価されたものです。長年のご貢献に敬意と感謝を表し、心よりお祝い申し上げます。



▲中津委員長（右）と川村教育長

中央図書館長からのメッセージ

開館40周年という大きな節目に際し、いつも支えてくださる皆さんへ厚く御礼申し上げます。今回、「育て！図書館の樹」には皆さんの思いがたくさん寄せられ、図書館が地域とともに歩んできた時間の尊さを改めて実感いたしました。

次の10年、20年も、皆さんとともに新たなページを紡いでいきますよう、これからも、学びと交流の拠点として、誰もが安心して立ち寄れる図書館づくりに尽力してまいります。

中央図書館長 齋藤 智美

「誰一人取り残さない学びの保障」

に向けた鹿嶋市の取組み

「誰一人取り残さない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」〔令和5年3月31日文部科学省通知〕を受け、鹿嶋市で行っている様々な取組を紹介します。

・小さなSOSを見逃さないための支援「オンライン相談窓口小中学校設置率100%」

いつでも、どんな端末からも相談できる匿名連絡アプリを小学5年生から導入しています。その他、ICT端末を活用した生活アンケートや相談の受付、心の健康観察を実施している学校もあります。

・学びの場の確保にむけた鹿嶋市教育センターの機能充実

教育センターには、様々な理由で学校に通学することが難しくなった児童生徒のための「家と学校の間にある居場所（ゆうゆう広場）」があります。経験豊富な教員OBなどがスタッフとして、社会的自立や登校復帰に向けて一人ひとりにあった学習支援と、体験活動の充実を図っています。教育に関する悩みや困り感などを抱えている児童生徒や保護者が直接相談することもできます。

・校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）などの設置

各学校では、自分の学級に入りづらい児童生徒が、落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習や生活ができる環境を整備するなど、学習支援と心の安定を図る支援を進めています。

・民間フリースクールとの連携

市内や各地にある民間フリースクールに通っている児童生徒についても、学校が通所状況や学習状況を確認しており、そうした学校外の機関や自宅などで行った学習の成果を評価できるよう連携しています。



鹿島アントラーズ試合観戦 バス招待事業 小学生218名が熱戦を応援！

©KASHIMA ANTLERS

11月8日、市内の小学5年生から6年生218名が鹿島アントラーズのホームゲーム（対横浜FC戦）に招待されました。試合前に、アントラーズのマスコット「アントン」と一緒に、インファイトスターから応援方法のレクチャーを受けました。試合中は児童の熱い応援でスタジアムを盛り上げ、熱気を肌で感じながら、試合を最後まで観戦しました。

ゴールが決まった瞬間、スタジアム全体が歓声に包まれ、参加児童たちも大いに盛り上がり、選手たちの活躍に目を輝かせていました。試合は2-1でアントラーズが勝利しました。

また、売店エリアでは、スタジアムグルメを楽しむ姿が見られ、観戦の合間に賑やかな雰囲気が広がっていました。さらに、参加した児童へ、鹿島アントラーズから限定デザインのマフラータオルがプレゼントされ、大喜びでした。

試合後のアンケートでは「今日の試合を観て、自

分の住んでいるまちが好きと思いましたか？」との問いに、多くの児童が「とてもそう思う」と答えています。地域の誇りであるアントラーズの応援は子どもたちの鹿嶋愛を熱く、そして大きく育てています。



▲限定マフラーを掲げて、スタジアムを盛り上げる小学生たち



▲アントンと一緒に応援の練習

©KASHIMA ANTLERS

中野西小学校創立150周年「ありがとう集会」

明治8年に中村小学校として創立した中野西小学校は、今年で150周年を迎えました。11月8日に「ありがとう集会」を実施し、全校児童55名が地域の方々に感謝の気持ちを伝えました。

1年生の劇から始まり、6年生による「中西ヒストリー」、それぞれの学年発表やダンス、全校合唱を披露し、地域の方々とともに「じゃんけん列車」のレクリエーションも楽しみました。集会の最後には、約200名の参加者全員で校歌を歌いました。

「子どもたちの発表が堂々としていてとても良かった」、「あたたかな雰囲気で楽しい時間を過ごせた」などの感想の他、参加者の中には「家族5世代で中西にお世話になっている。お祝いに参加できてとても幸せ。」と満面の笑顔で話される方もいました。



▲ふれあいレクリエーション「じゃんけん列車」



▲1年生によるオープニング

中野西小
がめざす
「児童、職
員、保護
者、地域、
学校に関わ
るみんなが
幸せを実感

できる魅力ある学校づくり」のとおり、集会は中野西小の良さをいかしたあたたかな集会となりました。これからも、地域とともに夢に向かって笑顔で挑戦する児童の活躍に大いなる期待が膨らむひとときでした。

中野西小学校は明治8年10月22日に中村宝憧院にて中村小学校として創立され、大正15年6月に中野西尋常小学校と改称されました。

はまなす幼稚園の場所への移転を経て、昭和52年新校舎竣工により現在の場所に移転しました。



▲現校舎竣工当時の中野西小学校

令和7年度少年の主張茨城県大会にて 茨城県議会議長賞受賞

9月26日、コミュニティセンター城里（城里町）にて「少年の主張茨城県大会」が開催され、県内31市町村120中学校（応募総数10,094名）の中から選ばれた10名の中学生が、日頃の思いや考えを力強く発表しました。

大会に参加した鹿野中学校3年の高田香奈さんは、「言葉とジェンダー」をテーマに「日常に潜む性別による言葉の偏りや影響」、「言葉の重要性」について自分が感じた経験を交えて発表しました。高田さんの主張は聴衆の心に深く響き、内容の独自性と表現力が高く評価され、茨城県議会議長賞を受賞しました。

大会を終えた高田さんから「少年の主張茨城県大会に参加して、同じ発表の場に立った中学生に非常に大きな刺激を受けました。また同年代の中学生には、こんなにも自分の思いや考えをしっかり伝えることができる人たちがいるということにも驚きました。発表のテーマも様々で、新しい発見と大きな感動がありました。この感動を鹿野中学校に広め、よりよい中学校となるよう努めるとともに、自分自身のことについても日々頑張っていきたいです。」と力強く話をしてくださいました。

～高田香奈さんの発表内容（要約）～

最近、性の問題について考える機会は増えています。一言一言の言葉に意識を向けてみると、「男勝り」「女子力」「イクメン」など、私たちが使う何気ない言葉で、無意識に「性の壁」がつくられてしまっていると思います。

言葉の力は偉大です。何気なく使われた言葉に、傷つけられることもあります。しかし、救われたり、希望を与えられたりすることもあります。私たち一人一人が今一度、自分の言葉を見つめ直し、ジェンダーについて考えることが、社会を変える大きな力になると思います。



▲受賞を報告した高田さん（右）と川村教育長

令和7年度人権啓発ポスターコンクール

最優秀グランプリ受賞

令和7年度人権啓発ポスターコンクールにおいて、2,033点の応募の中から、鉢形小学校2年生の今野華さんの作品が最優秀グランプリを受賞しました。県南生涯学習センター（土浦市）にて行われる人権週間記念フェスタ（12月6日）での表彰式の後、今年度の人権啓発ポスターとして採用されます。また、今野さんの作品は12月15日14時から22日12時まで茨城県庁2階県政広報コーナーにも展示されます。

～受賞された今野華さんからのメッセージ～

「人けんけいはつポスターに、みんながニコニコえがおで、楽しくなってほしいという思いをこめました。えがおのお花がいっぱいさくように、お友だちや家ぞくにやさしくしていきたいです。

私のいるはち形小学校では、はちっこぽかぽかコーナーがあり、いつも「ありがとうメッセージ」をかざっています。私もありがとうの気持ちをたくさんつたえてみんなをぽかぽかにしたいです。みんなのニコニコえがおどんどん広がるとうれしいです。」

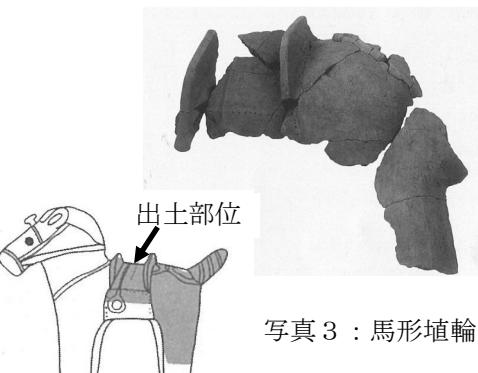


▲今野華さんの最優秀グランプリ受賞作品



写真2：円筒埴輪 写真1：人物埴輪

埴輪は権力者の墓である古墳に置かれた焼きものです。写真1は平成十一年に大野出張所から西へ約500mの位置にある二子塚古墳群（津賀地区）の1号墳から出土した人物埴輪です。頭部のみが見つかっており、長さは16cmほど、額には粘土紐が廻り、帽子か兜を被った男性のようです。首には丸い飾り玉が表現されています。



二子塚1号墳出土の埴輪
(鹿嶋市どきどきセンター蔵)

鹿嶋市ではあまり古墳から埴輪が発見されておらず、市内で確認されている約400基の古墳のうち、埴輪が見つかっているのは二子塚1号墳を含めて数基のみです。二子塚1号墳からは、他にも円筒埴輪（写真2）や馬形埴輪（写真3）も発見されています。



「鹿嶋市文化財デジタルアーカイブ」にも写真を掲載しています。▼

